

令和6年度「春の里山で身近な生き物を探そう！」

日 時 令和7年3月15日（土） 午前9時00分から

行 程 一宮支所駐車場 集合 → はたがしらやま 旗頭山（旗頭山尾根古墳群） → 一宮支所駐車場 解散

当日の様子



今回の「春の里山で身近な生き物を探そう！」は旗頭山で開催しました。

当日は市外から現地に駆けつけてくださった方も加わって11人が参加しました。昨年6月の観察時と同じように長慶寺橋の手前で送迎車を降り、東三河自然観察会の天野保幸先生達と合流しました。周辺の田んぼや畑も観察しながら旗頭山へ向かって歩いていくと、ナズナやホトケノザ、トキワハゼなどの花が咲いていたほか、ツクシが伸びているのを観察できました。

春を迎えたばかりの旗頭山を遠くから眺めると、まだ枯草が目立ちましたが、登山道を歩くと足元にはニオイタチツボスミレの花が咲いていました。旗頭山では昨年6月の初夏に観察したテリハノイバラ、11月の秋に観察したムラサキセンブリの冬を越した姿も観察しました。

テリハノイバラは海岸ではよくみられる植物ですが、意外なことに海から遠く離れた旗頭山でも観察することができます。旗頭山の土は海岸の環境とよく似ていて、土壌の水分が少なく乾燥しているためテリハノイバラが進出できたと天野先生が教えてくれました。

これまで季節を通して旗頭山を観察してきました。じやもんがしん 蛇紋岩地質で独自の植生をもつ旗頭山のような場所が豊川市のような都市の近くにあることは素晴らしく、改めて旗頭山は貴重な自然環境だと実感することができました。



↑ 冬に枯れたムラサキセンブリを観察



↑ テリハノイバラを観察



↑ツクシ



↑ニオイタチツボスミレ



↑田畑に残る動物の足跡を観察



↑左・中：イヌ科哺乳類の足跡
右：イノシシの足跡

観察した主な植物等

アオスズメノカタビラ、アメリカイヌホオズキ、アメリカフウロ、アレチハナガサ、ウメノキゴケ、オオアレチノギク、オオジシバリ、オオツメクサ、オカタイトゴメ、オランダミミナグサ、カスマグサ、カラシナ、カラスノエンドウ、ギシギシ、キュウリグサ、クロマツ、コセンダングサ、コハコベ、シロツメクサ、スイセン、スズメノエンドウ、セイヨウタンポポ、ツクシ、ツメクサ、ツルボ、テリハノイバラ、トウカイタンポポ、トキワハゼ、ナズナ、ニオイタチツボスミレ、ノジスミレ、ハハコグサ、ハルジオン、ハルノゲシ、ヒメオドリコソウ、ビワ、ブタナ、ホトケノザ、メカルガヤ、メリケントキンソウ、ロウバイ 他

観察した主な動物

ダイサギ、ヒヨドリ、クマゼミの抜け殻、イノシシの足跡、イヌ科哺乳類の足跡、タヌキの糞、ノウサギの糞 他

参加者の声（参加者アンケートより抜粋）

- ・植物の細かい説明がわかりやすく、知らない事ばかりで楽しかった。
- ・普段行けないような所につれていってもらえてよかった。
- ・身近にある植物の名前が色々知れて勉強になりました。また機会があればぜひ参加させて頂きたいです。

などのご意見をいただきました。